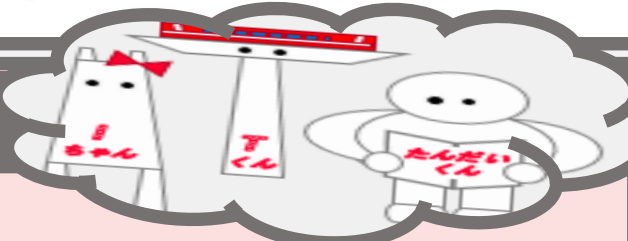


IT短大VIEW!

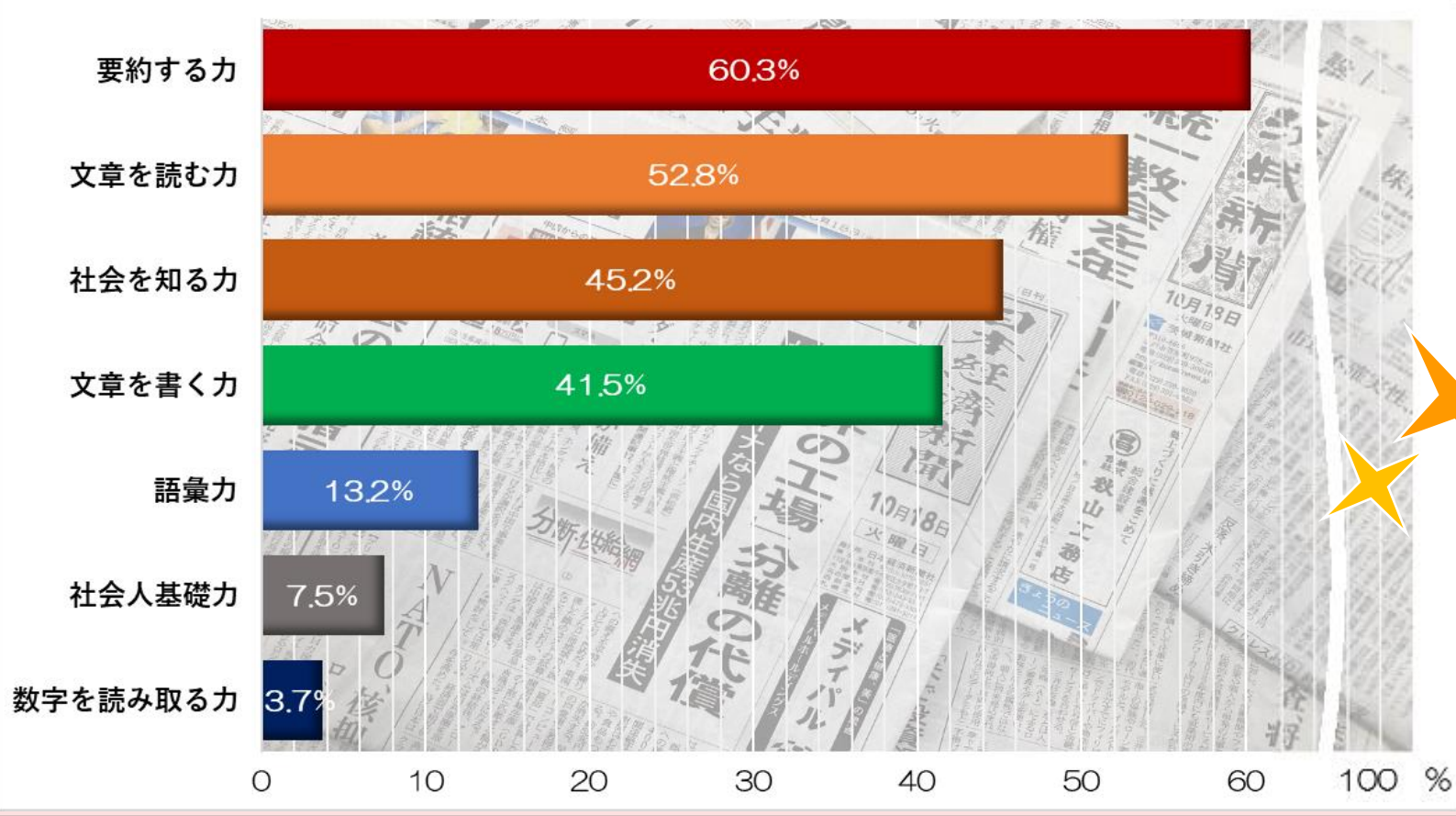


1 新聞を活用し読解力向上



本校では、社会人基礎力向上の一助として、新聞スクラップを実施しています。アンケート（第一学年）から、4つの力（「要約する力」60.3%、「文章を読む力」52.8%、「社会を知る力」45.2%、「文章を書く力」41.5%）に手応えがあることが分かります。

学生からは「新聞スクラップで、社会を知り考え書く力が付いた」（白取颯太：日立工高卒）、「社会の変化を新聞を読むことで知ることができた」（三木悠矢：水戸葵陵高卒）「新聞スクラップを通して、国語力、文章力、読解力の力が成長した」（紺野圭汰：水戸工高卒）の声がありました。次代を担う学生が社会の現状や課題に日々目を向けることで、IT技術をよりよく活かすことが期待されます。



3 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加えて「社会人基礎力」の向上のために、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

<記事> 読売新聞(2022年10月1日)
「手書きの大切さ 再確認したい」

◇要約

●小橋未来さん（鉾田第一高卒）
デジタル機器の普及に伴い、漢字が書けなくなったと感じている人は多いだろう。学校や家庭で論文や作文を原稿用紙に書いたり、スケジュールは手書きの手帳で管理するなど、機会を意識的に設けることで、手書きの文化を守っていききたい。



◇感想

●柏千穂子さん（勝田工高卒）
私自身、漢字が書けなくなったと感じることが多い。日常生活の中で漢字を書く習慣が減ったからだ。しかし、きちんと漢字で書くことは日本人として当たり前だと思う。日記をつけるなどの習慣をつけていきたい。

●大里竜也さん（下館工高卒）
最近は、スマホなどを小学生でも持つようになり、文字を自分で書くことも少なくなっていると思う。自分で手を動かして書くことによって、頭でも体でも覚えることができると思う。勉強は手書きが良いと思った。

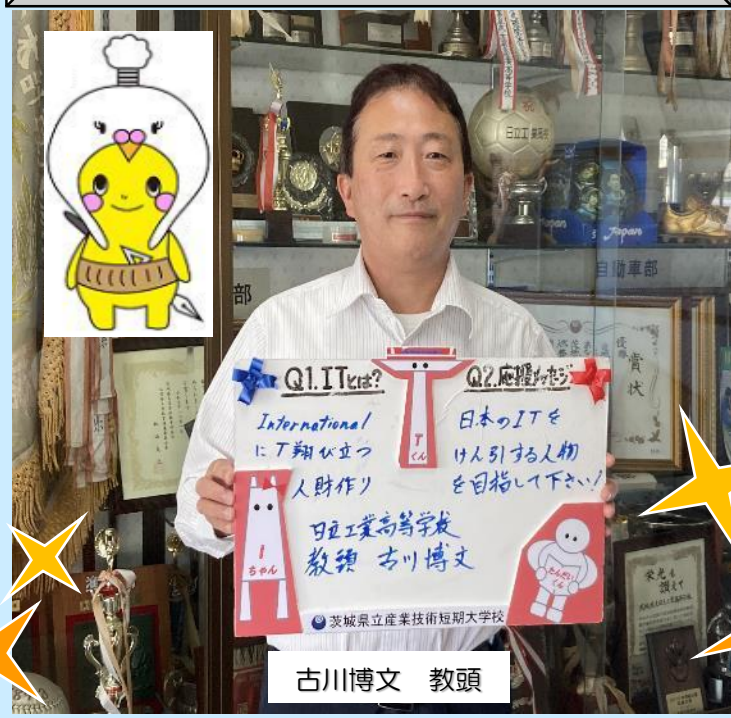
●藤咲なる美さん（水戸第三高卒）
私もこの記事にとっても共感した。自分でも漢字を思い出せないことが多々ある。また個人的な意見だが、手書きのほうが温かみがあるし、心もこもっている感じがして良いと思う。メールやSNSが主流の現代だが、たまに手紙などを書いてみたいと思う。

●三木悠矢さん（水戸葵陵高卒）
私は高校1年生の頃に漢検2級に合格しましたが、最近はスマホの利用頻度が多く、漢字を忘れることが多くなりました。IT技術を発展させて生活に革新をもたらしたい一方、文字を書く機会をどう増やしていくか、技術者も考えるべきだと思う。



2 みんなの母校訪問!

県立日立工業高等学校



創立80年の歴史を持つ伝統校で、全日制機械科・電気科・情報電子科・工業化学科の4学科と定時制総合学科があります。多数の卒業生が活躍しています。古川博文教頭は「日本のITをけん引する人物を目指して」とメッセージを頂きました。

県立日立北高等学校



昭和56年の創立の進学校です。建学の精神である「継続は力なり」に加え文武不岐を尊び、「誠実、克己、創造」を校訓としています。蛭田文教頭は「ITは、私たちの未来を照らす光です。地域を支えるリーダーになれ」とエールを頂きました。